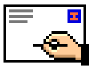
Eudora-J の利用方法

——Mac で簡単電子メール——

工学部分子化学工学科　近江靖則
oumi@aki.che.tohoku.ac.jp


Eudora-J1.3.8.5

1　はじめに

現在，E-mail は情報伝達手段の一つとして利用されています。Mac でも E-mail 用アプリケーションを使って，E-mail のやり取りを行うことが出来ます。ここでは，E-mail 用アプリケーションのひとつである "Eudora-J" について説明していきます。

2　Eudora-J とは

Eudora は，Mail Server との間で TCP/IP の POP protocol を用いることにより，Mac から Ethernet の mail のやり取りをするソフトです。Eudora-J は，英語版の Eudora をアシックスの中田氏の手によって日本語化したソフトです。なお，営利目的でない限りは無料で自由に使用することができます。

Eudora の特長は，ややこしいコマンドなどを覚える必要がなく，Mac に慣れている人なら誰にでもすぐに簡単に E-mail が使えることでしょう。

英語版の最新の Eudora は，version 1.4.2 をもって free な最終 version とし，以後 version 2.* からは市販ソフトとなりました。中田氏自身はこの version(1.3.8.J13) をもって free な Eudora の日本語化を打ち切るつもりのようです。なお，旧 version は bug があるので，最新 version を用いてください。現在（平成 7 年 6 月）の最新 version は，1.3.8.J13 です。

3　使用するには

E-mail を使う第一歩は，Mac が Ethernet に接続されていることが必要です。それには研究室で HUB を買ってそれに Macintosh を繋ぐのが今の主流でしょう。Mac を Ethernet へ接続する方法は，本ニュースに掲載されている記事を参考にして下さい。

次に，mail を送るには，Ethernet 上の E-mail アドレスを持っている必要があります。Mail Server として動いているワークステーション，PC-UNIX が動いているマシンもしくは，Mac が研究室にあれば，そのマシンの管理者から簡単に E-mail アドレスを取得することが出来ます。身近にそのようなマシンがない場合は，学科または，研究所の Mail Server として動いているマシンの管理者から，E-mail アドレスを取得してください。

また，Eudora-J 単独では，メイルを直接 Ethernet 上に出したり，受け取ったりすることは出来ません。実際に Eudora-J を使用するには，Mail Server 上で popper や pop3d などの POP Server の動いていることが必要です。Mail Server として動いているマシンで POP Server が動いていない場合，Eudora-J を用いて E-mail を読むことができませんので，マシンの管理者に動かしてもらいましょう。ワークステーションまたは，PC-UNIX が動いているマシンを Mail Server，POP server として使用されようと考えられている方は，そのマシンの管理者にお願いして，Mail Server，POP Server を立ち上げてもらってください。そのマシンが学科または研究所の Mail Server，POP Server でない場合，各学科または研究所の TAINS 利用研究会のメンバーに相談して下さい。現在は POP Server として，popper-1.831beta がよく使われています。なお，AIMS(Apple Internet Mail Server) を Mac で起動することによって，Mac を Mail Server，POP Server とすることが出来ます。本ニュースの記事「Mac を Mail Server にするには」(p.59) を参照の上，各学科または研究所の TAINS 利用研究会 AppleTalk グループのメンバーに相談して下さい。

4 どうやって手にいれるの

Eudora-J は，各 anonymous FTP site，NIFTY-Serve などから入手できます。東北大では，`ftp://ftp.tohoku.ac.jp/pub/mac/net/eudora` から最新 version を取ってくることが可能です。BinHex format で decode されている file を解くと自己展開形式の file が現れますので，これを起動すると本体を得ることができます。

5 どうやってインストールするの

入手した Eudora-J を，Mac のハードディスクやフロッピーにコピーするだけです。

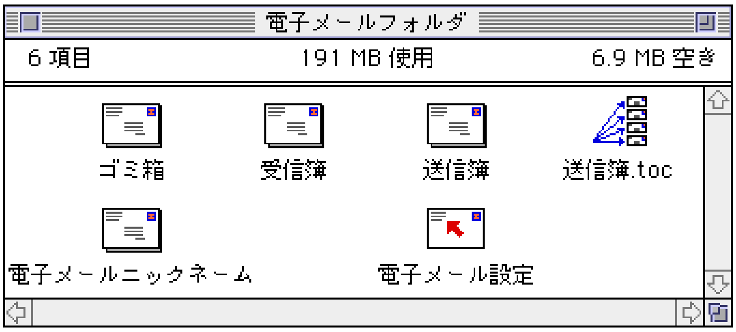


図 1: 電子メールフォルダを開いた状態

6　どうやって動かすの

Eudora-J のアイコンをクリックすれば，プログラムは動きます。その時に，システムフォルダの中に「電子メールフォルダ」というフォルダが作られます。多人数で Mac を使用している場合は，個人用の設定を行った後 Eudora-J を終了させて，システムフォルダに作られた「電子メールフォルダ」を個人用のフォルダもしくは，フロッピーに移動させます。設定方法は，第 7 節で説明します。

7　どうやって設定するの

きちんと MacTCP の設定がなされていることを前提として解説します。ここでは，Eudora-J を使うための基本的な設定のみ説明します。より詳しい設定方法は，第 9 節を参照してください。

Eudora-J を立ち上げ，「操作」menu から「設定変更...」を選びます。図 2 に示すような画面が現れます。ここで個人環境を設定します。

- POP アカウント：
  自分の id と Mail Server の address を @ でくっつけたつけたものを書きます。この場合は???@xxx.yyy.tohoku.ac.jp と書きます。???@130.34.yyy.xxx と直接 IP address を指定して書いてもかまいません。

- 本当の氏名：
  自分の名前を入れます。漢字も書くことができますが，mail を受け取った相手がそれを読めるとは限らないので，ローマ字でとどめておくか，漢字で書く場合にもローマ字と併記しておいたほうがよいでしょう。

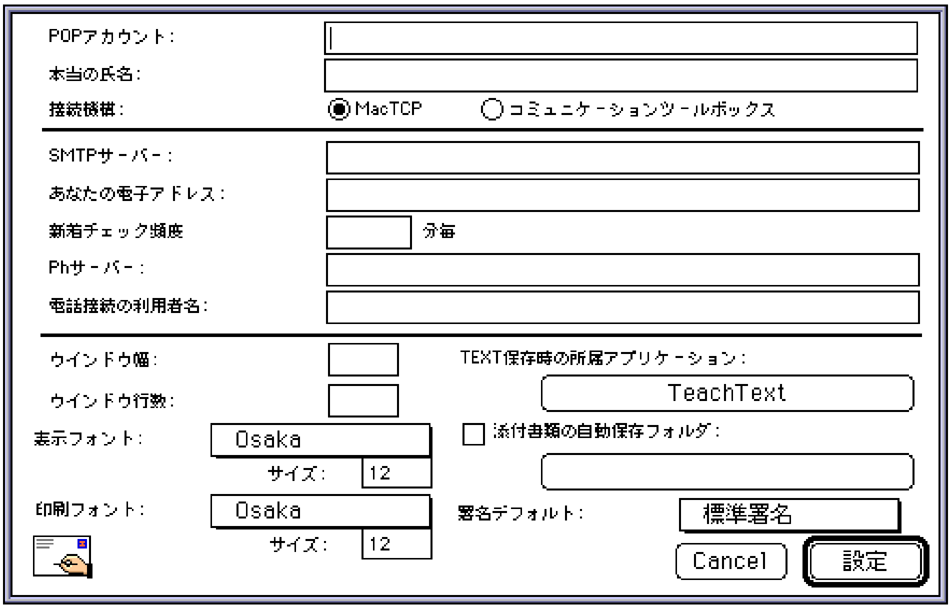


図 2: 設定変更...

- 接続機構：
  MacTCP を選びます。

- SMTP サーバ：
  xxx.yyy.tohoku.ac.jp あるいは 130.34.yyy.xxx と書きます。 Mail Server と同一の場合は何も書かなくてもかまいません。ほとんどの場合は Mail Server と一緒でしょう。

- あなたの電子アドレス：
  ???@xxx.yyy.tohoku.ac.jp と書きます。書き間違えると mail の返事が届きませんので注意してください。

- 着信チェック頻度：
  何分ごとに Mail Server へ mail が届いているかチェックするかを指定します。ゼロにすると，自動的には mail をチェックしないようになります。

- 表示フォント，印刷フォント：
  適当なフォントを指定してください。

- 署名デフォルト：

図 3: 新規メッセージ

mail を送る際に，mail の一番最後に自動的に署名がつくように設定できます。署名文の設定方法は，第 9.2 節で説明します。

8　どうやってメイルのやりとりを行うの

8.1　mail を書こう

mail を書くときは，「メッセージ」menu の「新規メッセージ」を選ぶかコマンドNを押します。そうすると図 3 のような画面が表れます。

- 画面上の一番上にある「印」：署名を自動的につけるかを表すオプションです。
  チェックしておけば署名が自動的につきます。但し，あらかじめ「操作」menu の「署名編集」で署名を編集されていることが必要です。署名編集については，9.2 節で説明します。

- 「To: 」：送信したい相手のアドレスを書きます。
  ニックネームを登録（第 9.1 節参照）してあればニックネームだけでちゃんと届きます。またよく mail を出す相手には，ニックネームを登録するか，受取人名簿をつくっておくと便利です。受取人名簿に登録するには，登録したい mail アドレスをなぞって「操作」menu から「受取人として追加」を選びます。この受取人名簿は「メッセージ」menu の「新規メッセージを」などの中から選ぶことができ，これを選ぶだけで相手の address を自動的につけてくれます。

- 「From: 」: Eudora が自動的にあなたの名前を入れてくれます。
- 「Subject:」：この mail の題目です。
  これらの項目には漢字を書くこともでき，また画面の上にある MIME（第 11.3 節を参照）の項目が on になっていれば，これが MIME 形式で decode されますが，必ずしもこれを相手が読むことができるとは限りません。最近は，この Subject も日本語に対応させた mail ツールを使っている人もいますが，まだまだトラブルが多いようです。ですから，ここは英字で書くことをおすすめします。漢字を使用する時は，くれぐれもご注意ください。
- 「Cc: 」: Carbon Copy の略で，同じ内容を送りたい相手の E-mail アドレスを書きます。この Cc: 欄の内容はメールに添付されますので，誰に同じメールが配送されているのかがメール受取人に分かるようになっています。
- 「Bcc:」は Blind Carbon Copy の略です。この Bcc: 欄の内容はメールに添付されないので，誰に同じメールが配送されているのかがメール受取人には分かりません。同じメールを誰に配送したか受取人に知られたくない場合に使うことも出来ますが，受取人に失礼になりますので，あまり使わないほうが良いでしょう。メールの写しを自分のところに保存したい場合に自分のアドレスを書くという使い方をしている人もいるようです。
  「Cc: 」もしくは，「Bcc:」のところに自分宛に E-mail アドレスが書いてある場合のみ，Mail Server に mail がうまく送れているか確認するために，メニューバーの中の「ファイル」の中にある「私書箱をチェック」を指定します。もし mail が来ていれば，mail が届いていること示すにわとり君 (図 4) が表われます。（第 8.2 節参照）
- 「メッセージ」menu の「書類の添付」: mail に file を添付する時に使用します。
  BinHex の encoding も自動的にしてくれるので，Mac user 同士で mail を送るときはとても重宝します。
- 一番下の広い部分：本文を入力する場所です。
  ここに好きなだけ書き込んでください。

相手の E-mail アドレスや文書等を書き終えたら，右上の「送信」ボタンを押すと mail は送信されます。

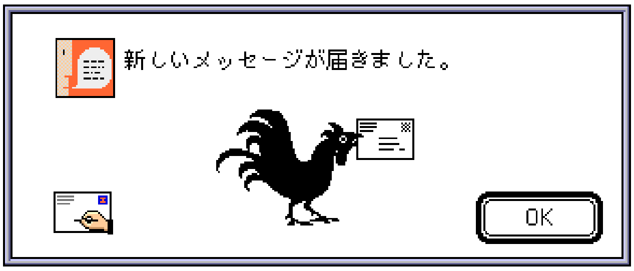


図 4: mail 到着を知らせるポップアップウインドウ

8.2　mail を読もう

Mail を読むには，「ファイル」menu の「私書箱をチェック」を選ぶかコマンドＭを押すと，Mail Server へ mail のチェックをしに行きます。立ち上げたばかりのときは，ここで password を要求されますので，Mail Server へ login するために自分の account の password を入れてください。

新しく mail が届いていると，「プピープー」と音がしてニワトリが手紙をくわえている絵が現れ，新しい mail が届いたことを知らせてくれます (図 4)。 Mail を定期的に見にいくようにしておき Eudora-J を background で立ち上げておけば，何か別な仕事をしている時でも新しい mail の到着を Eudora-J が教えてくれます。

また，定期的に mail を見に行く設定にしているときは，一度正しい password を入れれば次からは password を入れなくても自動的に mail を読みに行ってくれます。さらに「操作」menu の「スィッチ」で「パスワード保存」を ON にしておくと，password を file に記録しておいてくれて毎回 password を入れる必要がなくなります。ただしプライバシーの問題には十分気を付けてください。

mail が届くと，図 5 に示すような受信簿という画面が表れます。受信簿の一番左から，返事を出したかどうかなどのインフォメーション（“・”：読んでないメイル，“空白”：読んだメイル，“R”：返事を書いたメイル），差出人，到着時刻，部数，題名などの一覧が表示され，読みたいメッセージをダブルクリックすればその mail の内容を読むことが出来ます。受信簿という画面を閉じても「書簡簿」menu の「受信簿」を選ぶかあるいはコマンドＩを押せば，いつでもこの受信簿の画面を開くことができます。

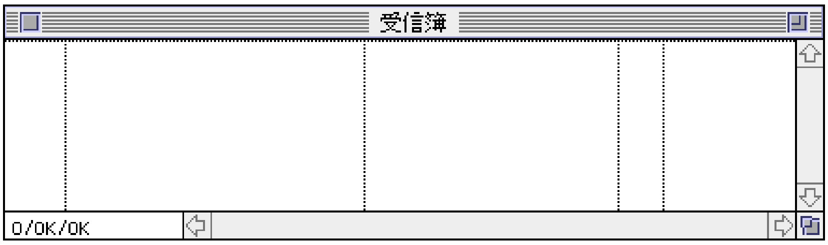


図 5: 受信簿

8.3 届いた mail に返事を書こう

届いた mail に返事を書く場合は，返事を出したい mail を選んで「メッセージ」menu の「返事」を選ぶかコマンド R を押します。すると，新しく mail を書く時と同じような画面が現れます。 この場合，一番上の To: には普通きちんと書いた E-mail アドレスを書かねばならないのですが， Eudora-J では自動的に相手の mail アドレスを書きますので面倒はありません。 2 行目の From: は自分の E-mail アドレスです。これも自動的に書かれます。 3 行目は題目（Subject:）です。これも勝手に相手の題目に「Re:」をつけたものになります。気に入らなければ，変えて構いません。

また一番下の広い部分には，自動的に返事を返す mail が引用されています。このように簡単に相手の mail を「引用」出来るのは， Eudora-J の特徴の一つです。引用される文章の冒頭に，引用する mail が着た時間，引用する mail の名前， E-mail アドレスが以下のように記述されます。

「>>>>> On Tue,6 Sep 94 23:05:42 JST,Susumu OKUBO
<okubo@vostok.imr.tohoku.ac.jp> said:」

また引用符には，相手の名前を入れた「XXX>」と「 > 」があります。一般には「 > 」を引用符とすることが多いようです。

「Cc: 」もしくは，「Bcc:」のところに自分宛に E-mail アドレスが書いてある場合のみ， Mail Server に mail がうまく送れているか確認するために，メニューバーの中の「ファイル」の中にある「私書箱をチェック」を指定します。もし mail が来ていれば，mail が着ていること示すにわとり君が表われます。

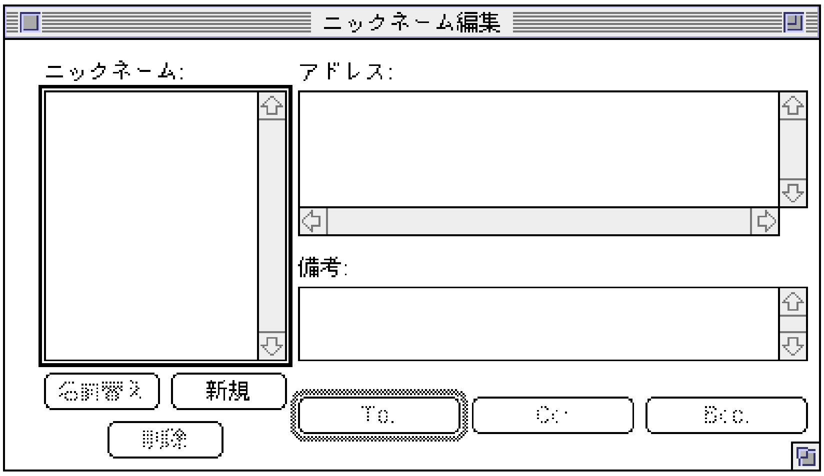


図 6: ニックネーム編集...

9　より便利に Eudora-J を使うには

ここでは，より便利に Eudora-J を使うための設定方法を説明します。

9.1　E-mail アドレスのニックネーム (別名) をつくるには

「操作」menu から「ニックネーム編集...」を選ぶと，ニックネームデータベースの画面が表示されます。ニックネームを登録しておくと，mail を出すときに自動的に正規の E-mail アドレスへ変換して送ってくれます。「新規」のボタンをクリックしてください。

そうすると図 6 のような画面が表れます。「ニックネームは何ですか？」に E-mail の別名を入れてください。また，「受取人リストへ追加する」の箱をクリックすると，受取人リストへ自動的に登録されます。受取人リストとは，ニックネームデータベースから，よく mail を出す人のリストのみを抽出したものと考えてよいでしょう。

OK をクリックすると，「ニックネーム」に登録され，カーソルは「アドレス」に移ります。「アドレス」には，「ニックネーム」で登録された人もしくは，各種グループの E-mail アドレスを代入してください。その後，画面をクローズすると変更を保存するか確認してきますので，OK ならば「変更保存」をクリックしてください。
他の登録方法として，Eudora で受け取った mail の中に書かれている E-mail アドレスをなぞって「操作」menu から「ニックネームへ登録」を選ぶことによっても出来ます。

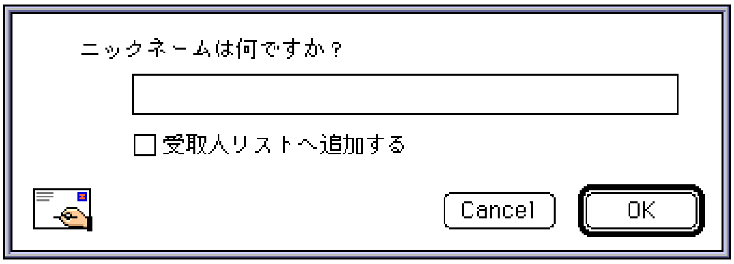


図 7: ニックネーム登録

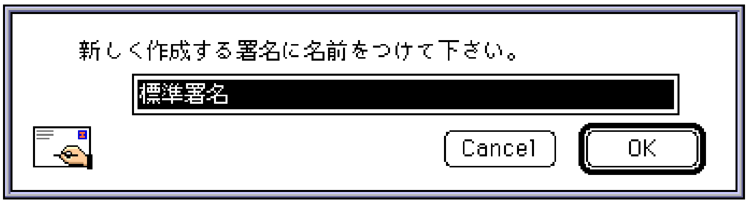


図 8: 署名の名前

9.2　署名を編集するには

「操作」menu から「署名編集 / New」もしくは，「署名編集 / 標準署名」を選びます。「署名編集 / New」の操作を行った場合，図 8 のような画面が表れますので，新しい署名の名前を付けてください。

「OK」ボタンを押すと図 9 のような画面が表れますので，自分なりの署名を作成してください。作成終了後，画面をクローズすると変更を保存するか確認してきますので，O.K. ならば「変更保存」をクリックしてください。なお，「署名編集 / New」で新しく署名を作成し，それをデフォルトにしたい方は，基本設定の「署名デフォルト」の変更をしてください。

9.3　mail を送信する時の細かな設定をするには

図 10 に示す画面は，Default で設定されている項目です。必要な項目，不必要な項目をクリックして，自分なりの設定を行ってください。

以上で設定は完了です。次回からはこの作業は不要です。

[注意]

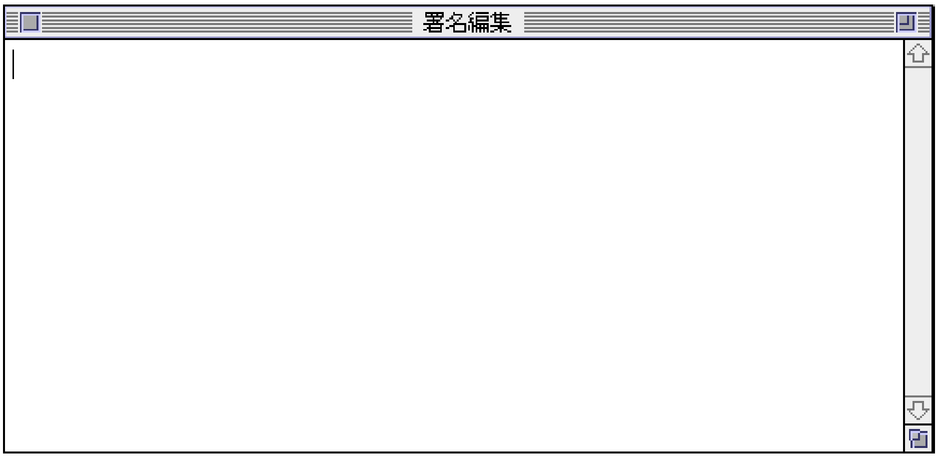


図 9: 署名編集

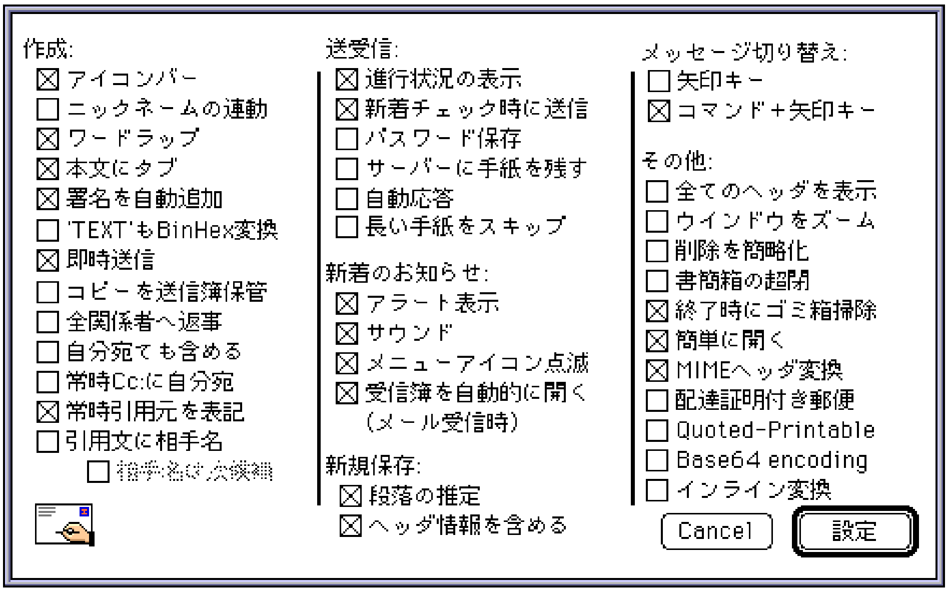


図 10: 諸設定

設定した内容は，System Folder の中に電子メールフォルダという名前の folder がつくられ，この中の電子 mail 設定という名前の file に記録されています。System Folder の中にあるものが Eudora の default の設定となりますが，一台の Mac を何人かの人が使うような場合にはこのままでは困ります。この場合には，電子メールフォルダを個人ごとに分けて使うことができます。上のようにして設定して System Folder の中にできた電子メールフォルダを，どこか自分のところに移してください。わかりやすいように名前を自分の名前などに変えておくなどするとよいでしょう。プライバシー保護のためには，file を disk の中に置きっぱなしにせず，フロッピーに移して保管しておくのがよいかもしれません。使いたいときは，この自分の電子メールフォルダの中の file を開くと，個人ごとの設定で Eudora が立ち上がります。

9.4 mail を整理するには

また沢山 mail がくると段々この受信簿の中がいっぱいになってきますので，mail を整理する必要があります。自分がいらないと思うメイルは，メニューバーの中の「移動」の中の「-> ゴミ箱」としてやると読んだメイルを処分することができます。「編集」menu から選択することにより，この一覧を差出人別や題名別などに並べ替えたり，検索をすることもできます。また，受取人ごとなどに mail を分けて保存したい場合は，「移動」menu の「New」で新しく書簡箱をつくって，「移動」menu から mail を移動してまとめておくことができます。沢山読むのも大変ですし，Mac のハードディスクもいっぱいになります。

10 多人数で Eudora-J を使うには

Eudora-J をはじめとしてマッキントッシュは，マルチユーザを対象にしておりませんので，基本的には Eudora-J を多人数で使用することはできません。ですが，裏技的方法により多人数で使用することが出来るようになります。

上にも書いたとおり，Eudora-J をはじめて使うとシステムフォルダに「電子メールフォルダ」が作製されます。このフォルダには，設定されたものが一式つまっていますので，これを個人のフォルダに移動します。（個人名にしたフォルダにするとよいでしょう。）

使うときは，個人のフォルダにはいっている「電子メールフォルダ」の中の適当なファイルをダブルクリックして Eudora-J を起動させてください。

Eudora-J 本体から起動させるとシステムに「電子メールフォルダ」を作製して個人の

情報ファイルを開かせません。また，システムに「電子メールフォルダ」がありますと，個人の情報ファイルから開いても，システム内の「電子メールフォルダ」から開いてしまって個人の情報も破戒しますのでご注意ください。くれぐれもEudora-J本体から立ち上げないようにしてください。システム管理者はEudora-J本体を隠すと共にシステムフォルダに「電子メールフォルダ」があったら即座に消去するように努めてください。

11　参考までに

11.1　Eudoraが異常終了したために起こる不都合な現象への対処方法

MacのEudora-J間でmailを集配を管理しているのが，Mail Server上のpopperです。Eudora-JがMail Serverと通信中にMacがcrashするなどしてEudora-Jが異常終了した場合，Mail Server上のpopperが起動したままになることがあります。そうすると，Eudora-JはMail Serverとmailのやり取りができなくなります。そのような場合は，Mail serverにloginしてpopperを強制終了して下さい。以下にMail ServerがUNIXをOSとしているマシンである場合の具体的な強制終了の手順を示します。

まず，Mail Serverにloginしたら，“ps”コマンドで現在走っているprocessをチェックするために，“ps”と打ってください。そうすると，以下のlistが出力されます。

PID	TT	STAT	TIME	COMMAN
28611	p1	S	0:20	popper
28797	p1	S	0:00	-tcsh (tcsh)
28842	p1	R	0:00	ps

このlistから，process numberが28611のpopperが走ったままになっていることがわかります。そこで，“kill 28611”と打ってpopperを強制終了した後，Eudora-Jを再起動すれば正常に戻ります。

ただ，Eudora-Jユーザの中にはUNIX等のコマンドに精通していない人も多いはずですので，Eudora-Jがmailを受信出来なくなった場合は上記の操作を自分でやろうとはせずに，直ちにEudora-Jを終了し，メールサーバー管理者に連絡してください。

なおEudora-Jの古いバージョンでは一行が255文字以上の文書を受け付けられないというバグがありました。こういうバージョンを使っていると上記の操作を行ってもまた同じmailでハングしますから注意してください。応急的にはサーバーマシンのスプールにある‘.***.pop’というファイルをcatやmoreで読んだ後，消去すれば正常動作します。

11.2 より安全に Eudora を使用するために

より安全に Eudora を使用するには，各人の password の管理を徹底してください。例えば，定期的に password を変更することです。また Mac の HDD 自体を壊す可能性があるので，むやみに mail をため込まないで適当に不要な mail を削除することに心掛けてください。 Eudora を用いると mail を出すことが簡単ですので，宛て先を間違えないように気を付けてください。また，より安全に Eudora を使用するためのソフトをいくつか紹介します。

- プラグインファイル「POP Secure」について

  「POP Secure」を「システムフォルダ / 初期設定」に導入すると， Eudora-J 起動後， mail の送信をおこなう場合にユーザの認証を先行して実行します。これによって， X-Sender: xxxxx (Unverified) の部分で (Unverified) がつかなくなります（あなたが正式な使用者であれば）。

  複数人で使っていても，環境をフロッピー等で各人が外に出していればいいのですが，ハードディスクに残している場合など，うっかり他の人の名前で mail を送ってしまうようなことを少しは減らせるでしょう。パスワード保存にしている場合には効果ありません，保存してなくてもパスワードを入れて新着 mail のチェックをして，そのまま終了するのを忘れているところに次の人がそのまま使って送信してしまった場合，無効です。

- 「detect ESC」について

  「detect ESC」は「システムフォルダ / 初期設定」に導入すると，途中で文字落ちやビット落ちして文字化けした文章を自動修正してくれるソフトです。

- 「Eudora-J Log」について

  「Eudora-J Log」は「システムフォルダ / 初期設定」に導入すると，文字どおり log file を初期設定フォルダ内に残してくれます。

11.3 MIME(Multipurpose Internet Mail Extensions) について

MIME とは，1 行の文字数制限や mail や News の最大サイズの制限をなくし，また文字だけではなく，プログラムなどのバイナリファイルや，ビットマップなどの画像，音声データなど，複数のバイナリデータを mail を使用して送るための Internet の拡張規格です。

11.4　AIMS(Apple Internet Mail Server) について

第 3 節で説明しているように，Eudora-J を使用しての Mail の送受信には Mail Server，POP Server になるマシンが必要であり，また自分の E-mail アドレスのアカウントを持っている必要があります。また Mac を用いて Mail Server，POP Server を作ることが出来ることも説明しました。これらのことを Mac 上で実現してくれるのが，AIMS(Apple Internet Mail Server) です。 AIMS は，以前 MailShare として知られていた Mail Server 兼 POP Server で，POP3 (Post Office Protocol 3) と SMTP に対応しています。なお，Mail Server 兼 POP Server を作るには，24 時間動作している Mac が必要です。

AIMS の設定等の詳細については，本ニュースに掲載されている記事「Mac を Mail Server にするには」(p.59) を参照して下さい。 AIMS の入手先および AIMS に関する情報は，

```
ftp://abs.apple.com/Products/

http://abs.apple.com/products/mailserver.html
```

にありますが，手に入らない場合は TAINS 利用研究会 AppleTalk グループのメンバーに相談してください。なお，現在はフリーですが，いずれ Apple 社より商品として販売される予定です。 AIMS の設定等については，各学科または研究所の TAINS 担当者あるいはお近くの TAINS 利用研究会 AppleTalk グループのメンバーに相談してください。